

図表 20：医療センターの特色①（がん診療）

### 地域がん診療連携拠点病院

- ・北九州地区に5病院
- ・がんセンターを中心に全人的なケアを実施
- ・低侵襲ロボット治療センターを活用した高度な医療の提供



#### ■ 外来化学療法センター

ベッド22床、リクライニング6床（計28床）  
令和4年度 11,520件  
日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法指導医2名  
がん化学療法認定看護師3名



#### ■ がんゲノムセンター

がんゲノム医療連携病院 指定  
従来の腫瘍細胞を検体とする検査に加え、  
令和3年8月に新たに保険適用となった血液を  
検体とする遺伝子パネルにも対応

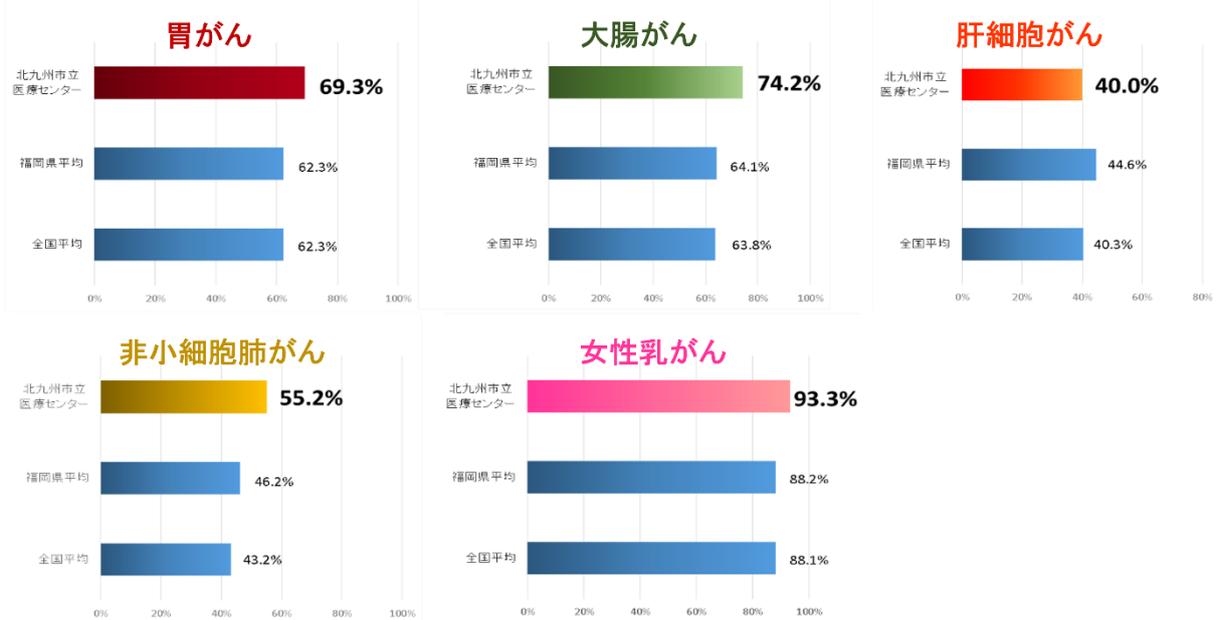


#### ■ 緩和ケア病棟

緩和ケア病棟 20床  
医師、看護師、薬剤師、理学療法士、  
管理栄養士、社会福祉士等



### 院内がん登録 2014-2015年の5年生存率



＜出典＞ 国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター 2023年3月公表資料

図表 21 : 医療センターの特色② (周産期母子医療)

### 総合周産期母子医療センター

- ・福岡県内に7病院、北九州市内に2病院
- ・ハイリスク症例(母胎22週より対応可能)対応、24時間体制
- ・市内だけでなく、福岡県東南部、大分県北部までカバー



	R1	R2	R3	R4	R5
母体搬送件数(件)	98	70	54	59	53
NICU受入患者数(件)	2,476	1,958	2,031	2,420	2,479



新生児集中治療室 (NICU)

- 【産科病棟】 母体・胎児集中治療室 (MFICU) 6床  
一般産婦人科病棟 25床
- 【新生児病棟】 新生児集中治療室 (NICU) 9床  
新生児治療回復室 (GCU) 12床 計52床
- 【専門医】 日本周産期・新生児医学会  
母体・胎児専門医暫定指導医 1名  
専門医 1名、新生児専門医 1名  
臨床遺伝専門医 1名

図表 22 : 医療センターの特色③ (感染症医療)

### 第二種感染症指定医療機関

- ・市内唯一の第二種感染症指定医療機関
- ・二類感染症が発生した場合に患者受入から治療まで実施
- ・平成11年4月に県より指定、16床の病床を設置

#### 【二類感染症】

感染力及び罹患した場合の重篤性からみた危険性が高い感染症

結核、ジフテリア、SARS、MERS  
鳥インフルエンザ (H5N1, H7N9) 等

#### 【医療措置協定に基づく第一種協定指定医療機関】

- ・新興感染症等の発生及びまん延に備えることを目的とし、平時より福岡県と医療提供体制の確保に関する協定を締結
- ・新興感染症等の発生早期から患者の入院受入を実施する



#### 【新型コロナウイルス感染症への対応】

- ・発生初期(令和2年2月)より入院受入を開始
- ・新型コロナの手術や分娩も実施し、県の重点医療機関として市内の医療機関の中心的な役割を担う
- ・新型コロナ新規入院患者数 (R2: 116人、R3: 279人、R4: 363人、R5: 317人)